

横浜エフエム放送株式会社 番組審議会報告書

開催年月日	令和7年2月20日 木曜日 15時00分～15時40分
出席者	番組審議会委員：宝田博士委員長、岡崎三奈副委員長、横尾典克委員、長谷川 篤委員、 FMヨコハマ：代表取締役社長兒玉智彦、久富一雄常務取締役編成部長、筒井理 編成担当部長、小林信子編成部マネージャー
議題	FMヨコハマ開局 40周年記念特別番組～神奈川県民ホールと私～音楽が大好きな場所 (2025年2月9日(日) 20:00～21:00)
議事の内容	前回(令和6年12月19日開催)の番組審議会より本日まで訂正、取り消しの放送が、 なかったこと、また、放送内容に対する苦情・意見もなかったことを報告しました。 また議題の番組について、放送同録CDを聴いた後、各委員から感想、意見等を聞きました。
審議の内容	まず、議題の「FMヨコハマ開局 40周年記念特別番組～神奈川県民ホールと私～音楽が大好きな場所」について、概要説明に入りました。
タイトル	FMヨコハマ開局 40周年記念特別番組～神奈川県民ホールと私～音楽が大好きな場所
放送時間	2025年2月9日(日) 20:00～21:00
放送形態	録音番組
出演内容	DJ 水野良樹(いきものがかり/HIROBA)、ナレーション 秀島史香 1975年の開館以来、数々のアーティストに愛され数多くの感動的なライブが行われてきた「神奈川県民ホール」。しかしながら、老朽化に伴う休館が発表され、その未来設計が不透明な中、多くファンや関係者から惜しむ声が寄せられています。 番組では、ステージに立ったアーティストやコンサートプロモーター、街の人々など、さまざまな視点からインタビューを交えながら、音楽を軸に、神奈川県民ホールの軌跡を振り返っていきます。 ■コメントゲスト(順不同) ・渡辺美里 ・横山剣(クレイジーケンバンド) ・Crystal Kay・橋口洋平(waccii) ・地元音楽プロモーター(KMミュージック・下田社長、キョードー横浜・土田社長)

◆番組DJ

水野良樹(いきものがかり、HIROBA)

1982年生まれ、神奈川県海老名市出身。

いきものがかりのリーダー兼ギタリストで、

多くの楽曲の作詞・作曲を担当。「ありがとう」「YELL」などのヒット曲を生み出す。

1999年にいきものがかりを結成。2006年メジャーデビュー。

音楽プロデューサーや執筆活動も行い、多方面で幅広く活躍中。



◆本特番の構成について

・街の声

一般の方々にインタビューし、神奈川県民ホールで初めて観たライブのエピソードを全編に挿入。ライブの感動や思い出をリスナーと共有。

・神奈川県民ホール休館の影響～地元音楽業界のリーダーたちの想いと未来への提言～

2025年3月末の休館は、これまでライブを行ってきた音楽関係者の間では大きな出来事となっています。その切実な思いを、横浜を代表するイベンターである、KM ミュージック下田社長とキョードー横浜土田社長のトークセッションを通じてリスナーに訴求。

・アーティスト視点での神奈川県民ホール

神奈川県民ホールを使い続けてきた著名アーティストからのコメントを通じて、神奈川県民ホールの思い出や想いを深掘り。その視点から同ホールが地域に与えてきた影響、休館に対する考え方について考察。

・クレイジーケンバンドと神奈川県民ホール

これまでも神奈川県民ホールで数々のライブを行ってきたクレイジーケンバンドの横山剣氏に神奈川県民ホールへの思いを語ってもらいつつ、番組の締めとして、2025年2月2日に同ホールで行われたライブ音源を特別オンエア。番組のエンディングを締めます。

※以上の概要説明に次いで、2025年2月9日(日)放送のダイジェスト版を聴いて審議に入りました。

各委員より、次の感想、意見等をいただきました。

<各委員講評>

◎音楽を流すのが中心とした番組かと思ったが、そうではなく、各アーティストの回想や、イベンターの方々の県民ホールについての話が主体となっている構成に驚いたが、興味深かった。

夜に温かみのある明かりが全館で点灯している県民ホールの良さを残して立て替えて欲しいという思いを馳せながら、懐かく聴くことが出来た。

◎良いテーマの番組だと思った。ただ、県民であれば、山下公園やイチョウ並木などの周辺の情景などを思い描けるが、そうでない場合は、難しいと思った。もう少し、誰にでも県民ホールの良さが分かるように、周辺の景色の良さや、県民ホールの素晴らしさなどがもっと分かるように、この番組を制作する上での背景の説明を加えても良いと思った。

◎番組を通して、県民ホールに対して、「ありがとう」なのか、終わってしまっって「寂しい」のか、これからどうしていったらよかったかななどの問題提起をしても良かったのではないかと感じた。

◎この番組の水野さんのDJ起用がとても良かった。また、渡辺美里さんのコメントが秀逸だった。

◎「音楽」が県民ホールを大好きということ、「県民ホール」が音楽を大好きということの2通りのタイトルの解釈ができると思う。そういう意味でも、とても素敵なタイトルだと思った。

◎各アーティストのコメントそれぞれがとても良かった。

◎改めて、県民ホールがなくなってしまうのは、とても残念だと思った。

◎歴史ではなく、各アーティストの話など、舞台上立つ方々の話を聴くことが出来たので、とても貴重な番組であったと思う。

◎クレイジーケンバンドのライブ音源がとても良かった。

<局より>

◎この番組は、開局40周年の企画ということで実施した。神奈川県民ホールがなくなってしまうということ一人でも多くの方に知っていて欲しいという思いがあり、制作に臨んだ。

ラジコなどを通じて全国の方に神奈川県民ホールを知ってもらう上で、映像がない分、興味深く聴いてもらえるよう、誘因する一工夫があった方が良かったのかと思う。

◎テーマについて、神奈川県民ホールに対して「ありがとう」という感謝の気持ちとともに、「休館後、解体までの間の使い方などをもっと模索できれば、、、」といった側面を出せるように番組演出を心がけた。

◎神奈川県民ホールに熱い思いのあるアーティストの方からのコメントをいただけて構成が出来たのは、とても良かった。

◎クレイジーケンバンドのライブ音源については、アーティスト側の多大なご協力をいただくことで放送タイミングに間に合わせることができ、番組の締めにあふさわしい素晴らしい演出ができて良かった。

以上、15時40分に審議終了、散会しました。

審議機関の答申または改善意見に： なし
対してとった措置及びその年月日

審議機関の答申または意見の概要： 各委員の意見及び回答を概容でまとめ公表。
を公表した場合におけるその公表 ①令和7年3月17日、04:55から3分間、当社で放送。
の内容、方法、及びその年月日 ②書面にて自社内に備置き
③令和7年3月17日、当社ホームページに掲載予定。
(<https://www.fmyokohama.co.jp>)

その他の参考事項： なし

以上